

*本リリースは、各社から配信されています。重複の場合はご容赦頂きたくお願い申し上げます。

NEWS RELEASE



2025年2月3日
アルピコホールディングス株式会社
セイノーラストワンマイル株式会社
株式会社エアロネクスト
株式会社 NEXT DELIVERY

アルピコホールディングス、セイノーラストワンマイル、エアロネクスト、NEXT DELIVERY、 新スマート物流の長野県全域への拡大と地域課題の解決や地域経済の活性化に向け業務提携

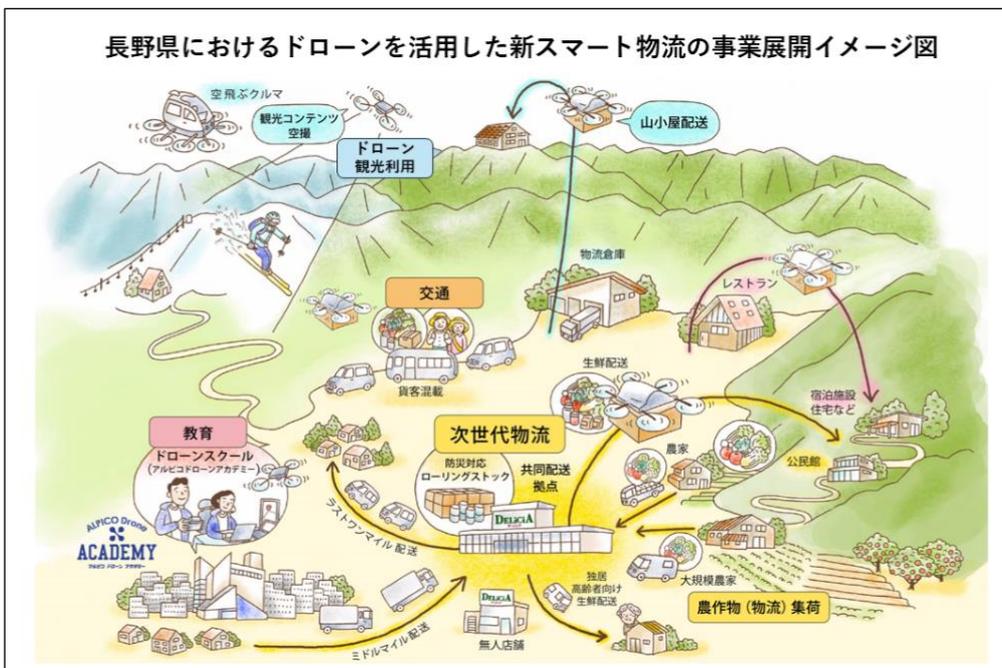
アルピコホールディングス株式会社（本社：長野県松本市、代表取締役社長：佐藤 裕一 以下アルピコホールディングス）とセイノーラストワンマイル株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：河合 秀治、以下 セイノーラストワンマイル）、株式会社エアロネクスト（本社：東京都渋谷区、代表取締役 CEO：田路 圭輔、以下エアロネクスト）および株式会社 NEXT DELIVERY（本社：山梨県小菅村、代表取締役：田路 圭輔、以下 NEXT DELIVERY）は、2025年1月31日に、新スマート物流の長野県全域への拡大と、新スマート物流を通じた地域課題の解決や地域経済の活性化に向けた業務提携を締結しました。

アルピコグループは、長野県を中心に交通、観光、流通等広く事業を展開しており、2023年9月に新規事業としてドローン事業を立ち上げ、既存事業とのシナジー創出により、地域課題の解決や豊かな地域社会の実現に貢献しています。

エアロネクストとセイノーラストワンマイルの親会社のセイノーホールディングス株式会社（以下 セイノーHD）は、トラックや軽バン等の陸上配送にドローン輸送を組み合わせ、独自の輸配送管理システムをベースに、物流を効率化する新スマート物流^{*1}SkyHub^{®*2}を、山梨県小菅村、北海道上士幌町など、全国9ヶ所で展開しています。

エアロネクストと NEXT DELIVERY は、2024年1月に起きた能登半島地震において、孤立集落・避難所へのドローンによる医薬品の物資輸送を国内で初めて実施した経験を踏まえ、平時、有事を問わず、ドローンを活用したフェーズフリー型統合ソリューションの構築が必須であり、そのためには新スマート物流 SkyHub[®]が基盤になると考え、国や自治体と前向きな会話を進めています。

2023年9月には、アルピコグループと NEXT DELIVERY は、茅野市蓼科地区の別荘地エリアにおいて、新しい食品・日用品配送サービスの構築を目指し、ネットスーパーと連携したドローン配送の実証実験を実施しました。



*本リリースは、各社から配信されています。重複の場合はご容赦頂きたくお願い申し上げます。

NEWS RELEASE

今回、4者が相互の連携・協力により、長野県における2024年問題など平常時の地域の物流ネットワークの強化や買い物弱者対策、並びに災害時の被災地への迅速な物資輸送を可能とするフェーズフリーな地域物流インフラの構築を促進し、県民生活や地域経済基盤の強靭化を図ってまいります。

<連携協定の概要>

1.締結日 2025年1月31日

2.協定の目的と内容

- (1) 長野県全域における新スマート物流の導入、推進
- (2) 長野県全域における新スマート物流（お買物支援、共同配送、ドローン配送を含む）の拠点および体制整備
- (3) SkyHub[®] Emergency Package^{*3}の構築と運用

3.各者の役割

(1) 4者共通の役割

- ・長野県庁、長野県内の基礎自治体との関係構築全般

(2) アルピコホールディングスの役割

- ・長野県全域における買物支援、夕食難民対策等、SkyHub[®]TMS^{*4}を活用した新スマート物流の実装
- ・グループのアセットを活用した共同配送の拠点づくり、インフラ、防災目的の支援物資等の提供
- ・グループのアセットを活用した新スマート物流における新サービス開発

(3) セイノーラストワンマイルの役割

- ・長野県全域における物流事業者の取りまとめ、荷物の集約
- ・長野県全域における共同配送の体制づくり
- ・SkyHub[®] Emergency Package 構築

(4) エアロネクストおよびNEXT DELIVERYの役割

- ・ドローン運航体制（物流専用ドローンの提供を含む）の構築
- ・全国展開している新スマート物流の運営ノウハウの提供
- ・アルピコホールディングスに対するSkyHub[®] Provider License^{*5}の提供



写真向かって左よりセイノーラストワンマイル 代表取締役社長 河合秀治、アルピコホールディングス 代表取締役社長 佐藤 裕一、エアロネクスト代表取締役 CEO/NEXT DELIVERY 代表取締役 田路圭輔



挨拶するアルピコホールディングス 代表取締役社長 佐藤 裕一



挨拶するセイノーラストワンマイル 代表取締役社長 河合 秀治



挨拶するエアロネクスト代表取締役 CEO/NEXT DELIVERY 代表取締役 田路 圭輔

*本リリースは、各社から配信されています。重複の場合はご容赦頂きたくお願い申し上げます。

NEWS RELEASE

1月31日に実施された連携協定締結式において、代表4者が以下のとおりコメントしています。

<アルピコホールディングス 代表取締役社長 佐藤 裕一のコメント>

アルピコグループは、長年にわたり地域社会に根ざしたサービスを提供してまいりました。また昨年からはアルピコドローンアカデミーを開校し、ドローン事業にも参入いたしました。一方、セイノーラストワンマイル・エアロネクスト様は、ドローンを活用した先進的な技術やノウハウを持つ企業として、業界をリードしています。この提携により、私たちは新たな価値を創造し、地域社会とお客様にさらなる貢献ができると考えております。

<セイノーラストワンマイル代表取締役社長 河合 秀治のコメント>

今後、ラストワンマイルに求められる機能やご期待はさらに大きく、幅広くなることが予想されます。顧客ならびに様々なパートナーとの連携を強化し、チーム一丸となって社会課題を解決しつつ、未来のインフラ構築として、ラストワンマイル領域にて新たなチャレンジを続けていきます。

<エアロネクスト代表取締役 CEO/NEXT DELIVERY 代表取締役 田路 圭輔のコメント>

新スマート物流の長野県全域展開のパートナーとして、アルピコグループ様とタッグが組めることを本当に嬉しく、心強く思います。長野県の地域資源とアルピコグループ様の様々なアセットやネットワークと我々のこれまでの経験、システム、サービスを統合して、長野県全域の地域生活インフラを持続可能にしていくための活動にしっかり取り組んでいきたいと思っております。

以上

【ニュースリリースへの報道機関からのお問い合わせ】

アルピコホールディングス株式会社 経営企画部 (担当: 上嶋)

Tel: 0263-28-5386 Email: kamijima.keisuke@alpico.co.jp

株式会社エアロネクスト/株式会社 NEXT DELIVERY 広報部 (担当: 伊東)

Tel: 03-6455-0626 Email: info@aeronext.com

セイノーラストワンマイル株式会社 グループ経営企画室 (担当: 丸山・伊藤)

Tel: 03-3667-0990 Email: t-maruyama@slo.co.jp

資料

*1 新スマート物流

物流業界が共通に抱える人手不足、環境・エネルギー問題、DX化対応、等の課題を、デジタルやテクノロジーを活用しながら解を探究し、人々の生活に欠かせない生活基盤である物流を将来にわたって持続可能にするための取り組みで、特に地域物流の効率化と地域社会の課題解決を推進する。地域の状況やニーズに応じて、ラストワンマイルの共同配送、車による陸送・ドローンによる空送のベストミックス、災害対応も含むフェーズフリー型物流、貨客混載、自動化技術等を官民、業界内外の壁を越えたオープンパブリックプラットフォーム (O.P.P.) による共創で検討し、実現を目指すものである。

*2 新スマート物流 SkyHub[®]

エアロネクストとセイノーHD が共同で開発し展開する、既存の陸上輸送とドローン物流を繋ぎこみ、地上と空のインフラが接続されることで、いつでもどこでもモノが届く新スマート物流のしくみ。ドローン配送が組み込まれた、オープンかつ標準化したプラットフォームで、ドローンデポ[®]を拠点に、車とドローンを配送手段として、SkyHub[®]TMS をベースに、異なる物流会社の荷物を一括して配送する共同配送、SkyHub[®]Delivery (買物代行)、SkyHub[®]Eats (フードデリバリー)、SkyHub[®]Medical (医薬品配送) など、地域の課題やニーズに合わせたサービスを展開、提供する。

SkyHub[®]の導入は、無人化、無在庫化を促進し、ラストワンマイルの配送効率の改善という物流面でのメリットだけでなく、新たな物流インフラの導入であり、物流 2024 年問題に直面する物流業界において、物流改革という側面から人口減少、少子高齢化による労働者不足、特定過疎地の交通問題、医療問題、災害対策、物流弱者対策等、地域における社会課題の解決に貢献するとともに、住民の利便性や生活クオリティの向上による住民やコミュニティの満足度を引き上げることが可能になり、地域活性化を推進するうえでも有意義なものといえる。

*3 SkyHub[®] Emergency Package

平時はもとより、災害時にも物流ドローンなどを活用して緊急物資配送をスムーズに実現することができるフェーズフリー型の SkyHub[®]のこと。

*本リリースは、各社から配信されています。重複の場合はご容赦頂きたくお願い申し上げます。

NEWS RELEASE

*4 SkyHub[®] TMS

地域物流を効率化する新スマート物流のベースとなる輸配送管理システム。

*5 SkyHub[®] Provider License

新スマート物流 SkyHub[®] のノウハウやツール、オペレーションの一部を第三者にライセンス提供する仕組み。

【アルピコグループとは】

アルピコグループは、長野県を中心に事業を展開している企業グループで、主に流通（スーパーマーケット）、交通（バス・鉄道・タクシー）、観光（ホテル・旅館・旅行）等を手掛けているコングロマリットグループです。2024年1月に新規事業としてアルピコドローンアカデミーを開校し、既存事業とのシナジー創出により、地域課題の解決や豊かな地域社会の実現に貢献することに努めています。

*会社概要は <https://holdings.alpico.co.jp/company/> をご覧ください。

【株式会社エアロネクストとは】

IP経営を実践する次世代ドローンの研究開発型テクノロジースタートアップ、エアロネクストは、「新しい空域の経済化」をビジョンに、空が社会インフラとなり、経済化されて、ドローンで社会課題を解決する世界を生み出すために、産業用ドローンの技術開発と特許化、ライセンスビジネスを行っています。コアテクノロジーは、重心、空力特性を最適化することで、安定性・効率性・機動性といった産業用ドローンの基本性能や物流専用ドローンの運搬性能を向上させる、独自の構造設計技術 4D GRAVITY[®]。この 4D GRAVITY[®] を産業用ドローンに標準搭載するため強固な特許ポートフォリオを構築し、4D GRAVITY[®] ライセンスに基づくパートナーシップ型のプラットフォームビジネスをグローバルに展開しています。また、ドローンを活用した新スマート物流 SkyHub[®] の実現のために戦略子会社 NEXT DELIVERY を設立し、ドローン配送サービスの社会実装、事業化にも主体的に取り組んでいます。

*会社概要は <https://aeronext.co.jp/about/company/> をご覧ください。

【株式会社 NEXT DELIVERY とは】

エアロネクストグループのミッション「人生 100 年時代の新しい社会インフラで、豊かさが隅々まで行き渡る世界へ」に基づき、2021年に山梨県小菅村に設立されたドローン配送を主事業とするエアロネクストの戦略子会社。エアロネクストとセイノーHD が共同で開発し展開する、既存物流とドローン物流を繋ぎこんだ新しい社会インフラとなる新スマート物流の仕組み SkyHub[®] の企画運営、全国展開を推進しており、共同配送とドローン配送に関わるハード及びソフトウェアの開発、販売、運用及び保守事業等の周辺事業も展開しています。山梨県小菅村を皮切りに、北海道上士幌町、福井県敦賀市等、全国各地で地域物流の効率化と地域社会の課題解決に取り組んでいます。

*会社概要は <https://aeronext.co.jp/about/company/> をご覧ください。

【セイノーラストワンマイル株式会社とは】

セイノーラストワンマイル株式会社は 2024年4月にセイノーホールディングスの子会社として誕生しました。「ラストワンマイル」と言われる“お客様にとって物流サービスの最後の接点”となる領域は今後もさらに拡大すると予測されており、「お客様のご要望に柔軟にお応えできるように」と新たに設立する運びとなりました。現代の日本における物流課題は多岐にわたり、具体的には買い物弱者問題、過疎地域問題、荷物再配達の問題、宅配クライシス問題などが挙げられます。セイノーラストワンマイル株式会社は、それらの社会課題に対してビジネスの手法を使ってアプローチしていく「社会課題解決型ラストワンマイル」を担っています。

*会社概要は <https://slo.co.jp/company/> をご覧ください。

*エアロネクストおよびエアロネクストのロゴ、NEXT DELIVERY、並びに「4D GRAVITY (R)」「SkyHub (R)」は、株式会社エアロネクストの商標です。

*その他、このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。